

ILA Berlin 2024

ベルリン国際航空宇宙ショー

会場：Berlin ExpoCenter Airport（ベルリン・ブランデンブルク国際空港に隣接）
主催：BDLI（ドイツ航空宇宙産業連盟）/Messe Berlin GmbH（メッセ・ベルリン社）
運営：Messe Berlin GmbH（メッセ・ベルリン社）
会期：2024年6月5日（水）から9日（日）
※パブリック・デーは8日と9日となります。

 Messe Berlin


PIONEERING AEROSPACE

www.ila-berlin.com

ILA Berlin/ベルリン国際航空宇宙ショーは、航空宇宙産業、防衛、サプライヤーセクションを網羅する、世界屈指の航空宇宙展示会です。技術のパイオニアが一堂に会し、グローバル連携の確立や未来を形づくるテーマを展開します。

2024年ILAは、イノベーション、テクノロジー、サステナビリティ、気候中立な航空と新しいモビリティにフォーカスします。前回のILA2022は、コロナ禍の2020年のオンライン開催を経てハイブリッド形式で開催され、29カ国から約550社の出展者が最新製品などの成果を展示しました。また、5つのステージで360人が講演し、約72,000人が来場、約60機の航空機展示とデモフライトが行われました。（パンデミック前のILA2018: 41カ国から1,100出展者、来場者180,000人）

航空宇宙産業の専門家が集結し、技術力を産業界にアピールする最高のステージであるILAを、貴社のグローバル展開に是非ご活用ください。

AVIATION

ゼロエミッションの未来へ

新時代の気候中立な航空機などのイノベーションと最新技術を展開。ILA Future Labは、欧州の助成プログラムや最新技術に関する特別展示エリアです。ドイツ航空宇宙産業連盟（BDLI）とドイツ連邦経済・気候保護省が企画するILA STAGEプログラムもご期待ください。

SPACE

地球のための宇宙

ILA Space Pavillionでは宇宙旅行が地球上の生活をどのように改善しているかを紹介し、サステナビリティと気候変動、デジタル化、イノベーションと研究、リスクヘッジとセキュリティ焦点を当てます。世界各国の政治・エージェント・研究機関・宇宙産業の関係者が一堂に会し、ネットワーキングに最適の機会です。

欧州宇宙機関（ESA）、ドイツ航空宇宙センター（DLR）、ドイツ航空宇宙産業連盟（BDLI）によるILA STAGEプログラムや、LSI、中小企業、スタートアップ企業も集結するNew Space エリアも展開されます。

2018年は、DLRブース内に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が出展し、はやぶさ2の実物大モデルを展示、そして日本航空宇宙工業会（SJAC）は、Japan Space Industry Workshopを開催しました。

Advanced Air Mobility

新次元のモビリティへ

ドローンやインフラ関連サービスの最新イノベーションを展開します。ILA STAGE AAMでは、新しいモビリティソリューションに焦点を当て、無人航空機システムからeVTOLとして知られる電動垂直離着陸機に至るまで、新しい航空機に関連するあらゆるものがフィーチャーされます。

統計データ（左:2018年、右:2022年実績）

総展示面積	250,000m ²	
出展企業	約1,100社(41カ国)	約550社(29カ国)
展示航空機数	約200機	約60機
総ビジター数	約180,000人	約72,000人
ジャーナリスト	4,000人以上	800人以上
開催間隔	隔年	

Supplier

ISC/International Suppliers Center

3日間のトレードデーにわたって開催されるISC/International Suppliers Centerは、2次以下のサプライヤーの皆様にも、ポテンシャルのあるビジネスパートナーやバイヤーとのネットワーキングの機会を提供します。300を超える国内外の出展者が、ISCホールでイノベーション、製品、サービスを展示します。B2B事前マッチメイキングプログラムを提供、更なるネットワーキング・エリアと会議室も利用可能です。東京都も長年ご出展、成果に高い評価が寄せられています。

Defence & Support

ハイテクノロジーによるセキュリティ

展示という側面に加えて、ILAは概念開発、将来の脅威、技術トレンドに関する交換のプラットフォームとしても機能しています。ILA STAGE Forum Airではドイツ軍とドイツ空軍による共同プログラムが開催され、ドイツ空軍による処置、能力、人材に関するトピックのプレゼンテーションが行われます。2018年には、日本から初めて防衛装備庁がご出展されました。

STATIC DISPLAY –Demo Flights

実機展示の多さもILAの特徴です。2018年はEmiratesのA380やA350, A340 BLADE, 同じくエアバスのBeluga, そしてBoeing747-8, Antonov225, 防衛関連でEurofighter, 軍用輸送機A400M, 軍用ヘリコプターのTiger, フランスのRafale, Lockheed MartinのF35, CH-53K, BoeingのCH-47 Chinook, そして、日本から防衛装備庁のP1哨戒機が初披露されました。

ILA Digital: 出展者ディレクトリの検索、ILAコンファレンス・プログラムへの参加計画、航空宇宙業界のエキスパートとのアポイントメントなど、ご来場前にすべてを行うことができるデジタル・プラットフォームです！
2024年春頃に開設予定です。